

## 夢を見るより大切なこと

暦の上では立冬を過ぎました。最近、朝晩はとても寒い日が続いています。日中は過ごしやすい気候の日が続いていますが、秋が短くなっているような気がします。本校では、明日に迫った合唱祭に向けて、クラスや学年での合唱練習が熱心に行われています。素晴らしい合唱祭となることを期待しています。

さて、11月10日(金)に2021東京パラリンピックに出場し、走り高跳びで4位入賞を果たした義足のハイジャンパーである鈴木徹選手に本校へ来校いただき、しなやかな心の育成講演会で全校生徒対象にお話をいただきました。鈴木徹選手は、中学・高校時代はハンドボール部で活躍、国体にも選ばれた素晴らしい選手でした。しかし、高校卒業を控えた18歳の時に交通事故で右足膝下を切断してしまいました。つらいリハビリを乗り越え、その一年後、2000年のシドニーパラリンピックに初出場し、義足のアスリートとして初めて走り高跳びに臨みました。以来、アテネ、北京、ロンドン、リオ、そして東京と6大会連続出場しています。東京大会で悲願のメダル獲得を目指していましたが、あと一步届かず4位でした。パラ陸上界のレジェンドとして現在も活躍中で選手として、そして指導者としての二刀流で、パリ大会出場を目指しています。山梨県の県民栄誉賞を受賞、山梨市の教育委員も務められていますが、今回お忙しい中おいていただきました。



鈴木選手は、5歳の頃、徐脈性不整脈という病気により平常時の心拍数が32までに落ちてしまい、激しい運動を禁止されたそうです。また、吃音症があり、小学校に進学してもその症状は続き、いじめの対象になったこともあったそうです。周囲から真似をされ、からかわれ、より無口になっていく……。そんな鈴木さんが、唯一生き生きと躍動したのが体育の時間やスポーツをしている時間でした。言葉はなくても体を動かすことで喜びが得られる、体育があるから、いじめられても学校に通い続けることができたそうです。18歳の時、卒業式を目前に控えていた頃に、交通事故で右足膝下を失ったときもスポーツへの想いは消えなかったそうです。鈴木さんからは、挑戦することが大切、苦手なことがあってもすぐに断るのではなくチャレンジしてほしい、熱中するものはひとつでなくていい、自分自身の可能性が広がっていくからと話してくれました。目の前のことにしっかりと取り組んでいくことで未来を拓くことができる、時間を大切に使い、チャンスは誰にでも平等にあると伝えてくれました。それから人とのつながりを大切にしてほしいと話してくれました。鈴木さんは、足を切断した時もたくさんの方々を支えられ、ここまでできたそうです。だから、人との繋がりを大切にしているそうです。あっという間の一時間で、本当に素晴らしい学びの時間となりました。

### <生徒の感想>

鈴木さんのお話から、夢を見るだけではなく、アンテナを張って、時間を将来のために有効に使うこと、いろいろなことをやってみることを学びました。鈴木さんは、片足になっただけでなく小さい頃から大変だったのに、そんな自分自身と付き合っていく道を選んだ鈴木さんの心の強さを改めて感じました。パリ大会も頑張ってください。応援しています。(1年2組 宮原蓮奈さん)

この講演会は、自分の考えと行動を大きく変えるきっかけとなりました。今まで夢をどうするのかわからなかったのですが、その悩みが少し解消された感じがしています。鈴木さんのずっと夢を追いかける姿勢は素晴らしいと感じ、～でありたいではなく、～でなければならないという決意の仕方は、とても参考になりました。自分にとって大きな目標をつくる支えになるような講演会でした。(2年1組 齋藤竜勢さん)

もし私が鈴木さんのように病気にかかってしまったり、足を失ってしまったりしたら、立ち直れずネガティブになってしまうと思います。鈴木さんが自分にできることを見つけ頑張っているところに感動しました。お話を聞いて一歩踏み出してみようと思うことができました。受験生として自分の未来の選択の幅をせばめないために、今頑張りたいと思います。「自分が胸を張ってできると言えること」「自分が夢中になること」を見つけるためにいろいろなことに挑戦していきます。素敵な講演をありがとうございました。(3年1組 湯浅ゆうはさん)

## 小学校への出前授業と菊池省三先生による師範授業について

今回「中学進学への橋渡しに」と、13日(月)に校区にある3校(敷島小学校・敷島北小学校・敷島南小学校)を訪問し、6年生を対象に来春からの中学校での新生活について説明する出前授業を、中学校3年生の代表(石川瑠輝さん、水谷花朋さん、篠田弘汰さん、長田梨里さん、井口彩葉さん、照屋依智加さん)が行いました。3校の6年生に対して、中学校生活への不安を少しでも解消し、希望と期待をもって来年の4月を迎えてもらおうと企画しました。小学校と中学校との違いや自分自身の経験も話してくれました。また本校が、帰りの会で今年度から全クラスで実施している「フリートーク」についてもその場で体験してもらいました。授業を参観していただいた先生方からは、6人の生徒が本当にわかりやすく中学校生活を話す様子や自分自身の経験を自分の言葉でしっかりと話す姿に、たくさんの賞賛の声をいただきました。授業には、5月にも来校いただき、師範授業等でご指導いただいた教育実践家の菊池省三先生にもアドバイザーとして参加いただきました。授業の後半は、菊池先生が中学生に質問しながら、ユーモアを交えた会話で場を盛り上げながら、6年生の児童から中学校への期待の言葉と拍手を引き出してくれました。また、6校時には、菊池先生に3年生の生徒全員への特別授業をしていただきました。卒業まであと4ヶ月弱となった3年生へエールを贈っていただく、感動的な授業でした。菊池先生自身もあまり慣れていない体育館での授業、学年の生徒全員への授業ということで、無理を承知でお願いしましたが、たくさんの学びを3年生の生徒たちに、私たちに与えていただいた貴重な時間となりました。

### <児童(小学校6年生)の感想>

中学校に不安を持っていましたが、中学生による出前授業でかなり安心できました。ぼくがすごいなと思ったのは説明がすごく分かりやすかったのと菊池先生に急にふられてもすぐに即興で説明できるのが本当にすごいと思いました。ぼくが3年生になったとき、今日来てくれた3年生のようになりたいです。(敷島小 森田一步さん)



## 職場体験をおこないました～キャリア教育の取組～

11月1日(水)～2日(木)に、2年生が職場体験を行いました。甲斐市内の事業所を中心に、甲府市や南アルプス市の68の事業所にご協力をいただきました。学校教育全般で「生きる力」の育成が求められています。また、生徒たちは、将来、社会人・職業人として自立した社会の形成者となることも目標となります。そこで、キャリア教育のひとつとして、本校では2年生で職場体験を実施しています。今回は甲斐市商工会にもご協力をいただき、地域と連携しながら実施をさせていただきました。生徒たちは、それぞれの職場で一生懸命に取り組む姿がありました。受け入れていただいた事業所からは「あいさつもすっかりできて、従業員とのコミュニケーション、返事など大きな声でしてくれました。とても感じの良い生徒さん方で、受け入れる我々も癒やされました」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。2年生の生徒たちもまたひとつ大きく成長したように思います。ご協力いただいた事業所の方々に改めてお礼を申し上げます。

